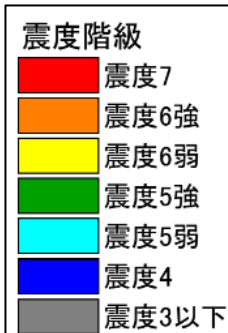


1. ハザード評価

(1) 地震動

【L2】理論上最大クラス

【L1】過去最大クラス



<震度別面積割合>

(参考) 総面積 = 41.1km²

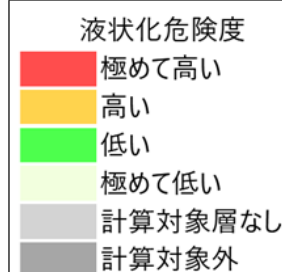
震度階級	【L2】理論上最大クラス		【L1】過去最大クラス	
	面積 (km ²)	割合	面積 (km ²)	割合
7	14.9	36%	0.0	0%
6強	26.2	64%	3.5	8%
6弱	0.0	0%	37.6	92%
5強	0.0	0%	0.0	0%
5弱	0.0	0%	0.0	0%

※震度別面積の合計は、四捨五入により総面積と一致しない場合があります。

(2) 液状化

【L2】理論上最大クラス

【L1】過去最大クラス



<液状化危険度別面積割合>

(参考) 総面積 = 41.1km²

液状化危険度	【L2】理論上最大クラス		【L1】過去最大クラス	
	面積 (km ²)	割合	面積 (km ²)	割合
極めて高い	6.7	16%	5.1	12%
高い	2.9	7%	3.6	9%
低い	2.6	6%	2.7	7%
極めて低い	10.9	27%	11.7	29%
計算対象層なし 計算対象外	18.0	44%	18.0	44%

※液状化危険度別面積の合計は、四捨五入により総面積と一致しない場合があります。

1. ハザード評価

(3) 沿岸最大津波高

L2	L1
6m	6m

(4) 沿岸津波到達時間

L2	L1
30分	54分

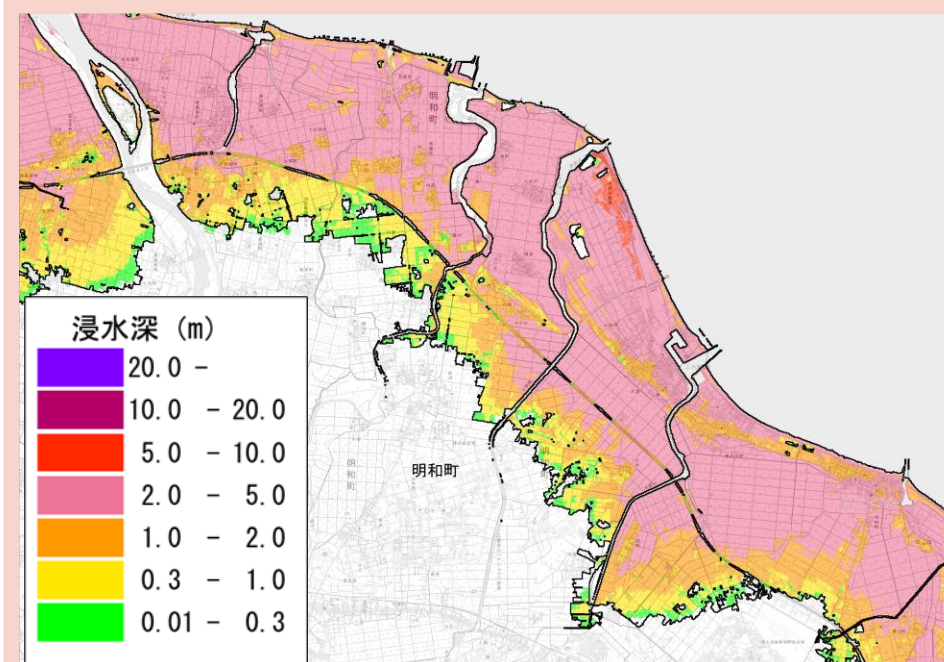
※沿岸で1mの水位変動が発生するまでの最短の時間

(5) 津波浸水面積

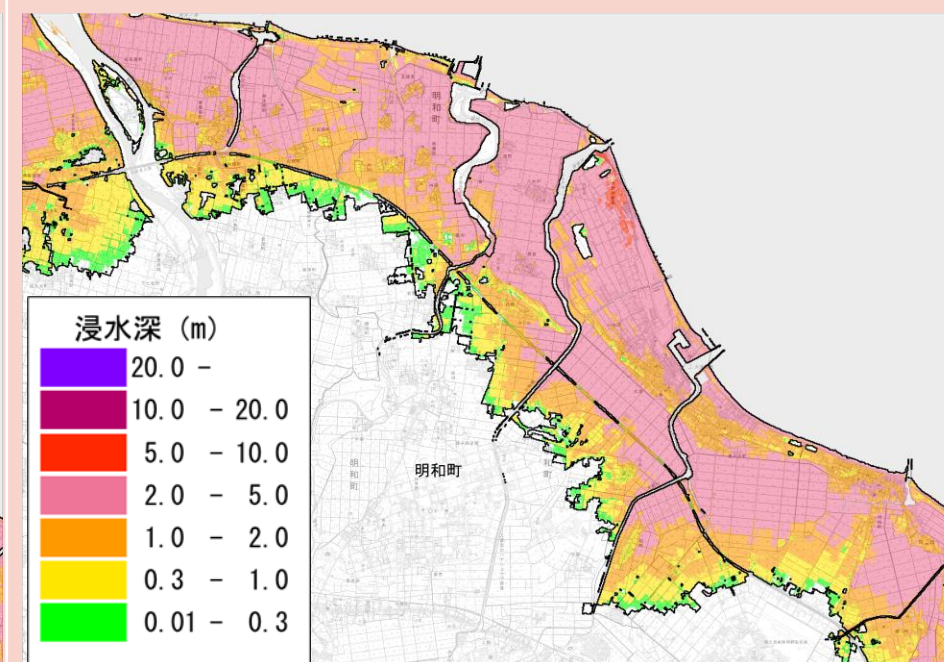
L2	L1
1,422ha	1,293ha

(6) 津波浸水深

【L2】理論上最大クラス

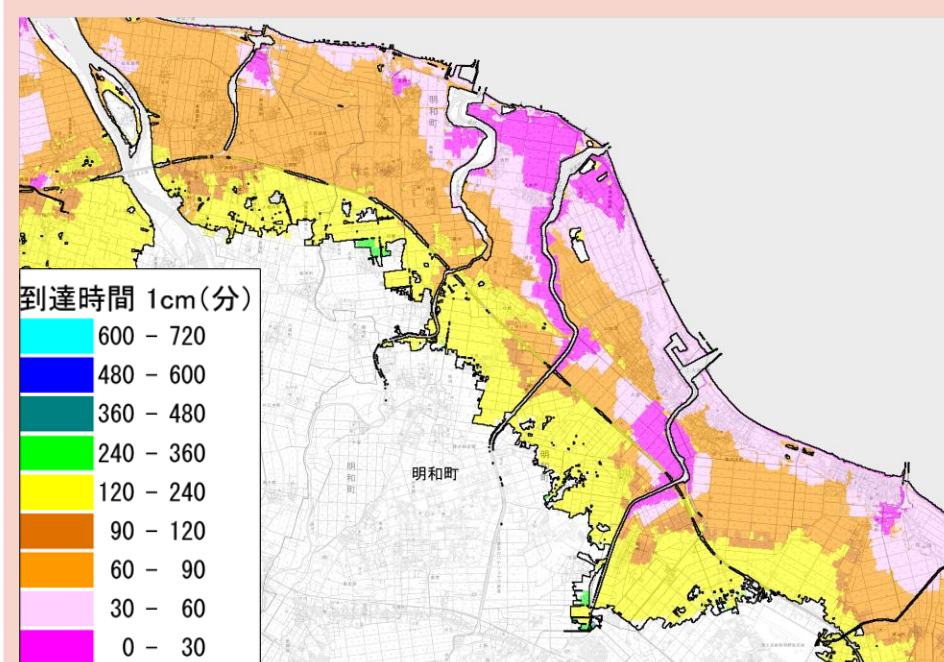


【L1】過去最大クラス

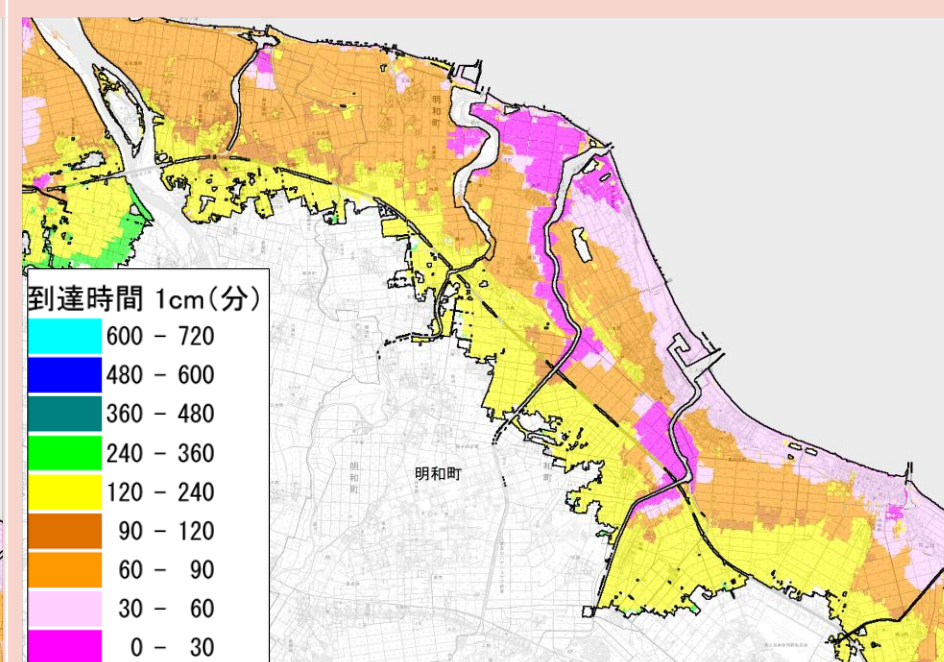


(7) 津波浸水深到達時間 ※陸上で1cmの浸水が発生するまでの時間

【L2】理論上最大クラス



【L1】過去最大クラス



2. リスク評価

(1) 人的被害

※L2の死者数は津波ケース⑨の推計結果
 ※季節・時間帯：冬・深夜
 ※津波からの早期避難者比率が低い場合

定量評価項目	L2	L1
死者数（人）	約700	約300
うち建物倒壊等	約300	約20
うち津波	約400	約300
うち急傾斜地崩壊等	-	-
うち火災	約10	-
うちブロック塀・自動販売機転倒および屋外落下物	-	-
重傷者数（人）	約500	約50
軽傷者数（人）	約900	約400
建物倒壊等による自力脱出困難者数（人）	約800	約80
津波被害による要救助者数（人）	約100	約10
津波被害による要捜索者数（人）	約400	約300

(2) 建物被害

※L2の全壊・焼失棟数は津波ケース⑨の推計結果
 ※季節・時間帯：冬・夕方

定量評価項目	L2	L1
全壊・焼失棟数（棟）	約6,300	約1,700
うち揺れ	約4,400	約400
うち液状化	約10	約10
うち津波	約1,100	約1,300
うち急傾斜地	-	-
うち火災	約800	-
半壊棟数（棟）	約3,200	約3,000
うち揺れ	約2,400	約1,600
うち液状化	約10	約20
うち津波	約800	約1,400
うち急傾斜地	-	-
ブロック塀等の転倒数（件）	約600	約200
自動販売機の転倒数（件）	約10	約10
屋外落下物の発生数（件）	約1,200	約30

(3) 火災被害

※季節・時間帯：冬・夕方

定量評価項目	L2	L1
炎上出火件数（件）	約10	-
残火災件数（件）	約10	-
津波火災発生件数（件）	-	-

概観（理論上最大クラス） 【ハザード評価】

広い範囲で震度6強および震度7となり、どちらも沿岸部を中心に液状化が発生します。また、堤防の沈下により、低い土地では地震発生直後から津波浸水が生じます。

【リスク評価】

理論上最大クラスでは、死者の約6割が津波で亡くなり、また揺れによって町全体の約3割の建物が全壊することで、建物倒壊等による死者や自力脱出困難者が発生します。津波による全壊や火災による焼失も発生します。

※「-」：わずか（5未満）
 ※端数処理のため、合計が各数値の和に一致しない場合がある。